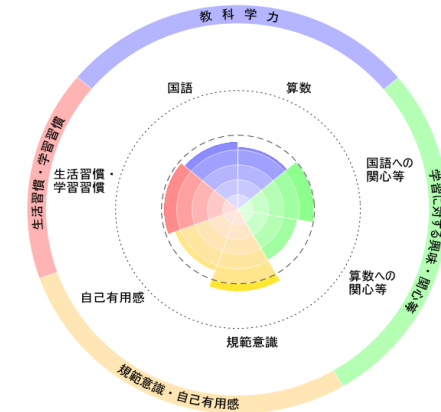


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
国語	○図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができている。 ○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するために質問することができる。 ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことが不十分である。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができず、また、無解答率も高い。	・物語文の学習において、登場人物の人物像や気持ちの変化を、複数の叙述をもとに考えていくような指導方法を工夫するとともに、朝読書を徹底するなど、読書指導を充実させる。 ・日記や感想といった書く場面において、既習の漢字を適切に使えるよう指導していく。 ・「話す・聞く」領域の学習を中心とした音声表現の場面を充実させ、話者と聴者の育成を図る。 ・新聞を活用するなどして、文章や資料などから分かったことや自分の考えを整理し、まとめる活動を充実させていく。
算数	○台形について理解している。 ○棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができている。 ●加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることが不十分である。 ●除法の意味を説明したり、必要な数量を選んで立式したりするなど、式や計算の意味を考えることが不十分である。 ●記述式の問題についての無解答率が高い。	・計算ドリル等の基礎学習を繰り返し行うとともに、毎月の「全校計算会」により定着の度合いを把握しながら指導を継続する。 ・算数的要素と日常生活の関連を意識させるなど、意味理解につながる指導方法を工夫する。 ・考え方の道筋を示すなど、児童の理解を促す指導方法を工夫する。 ・自分の考えを式や図、文章を使って表し、それを説明し合う学習を大切にしてい

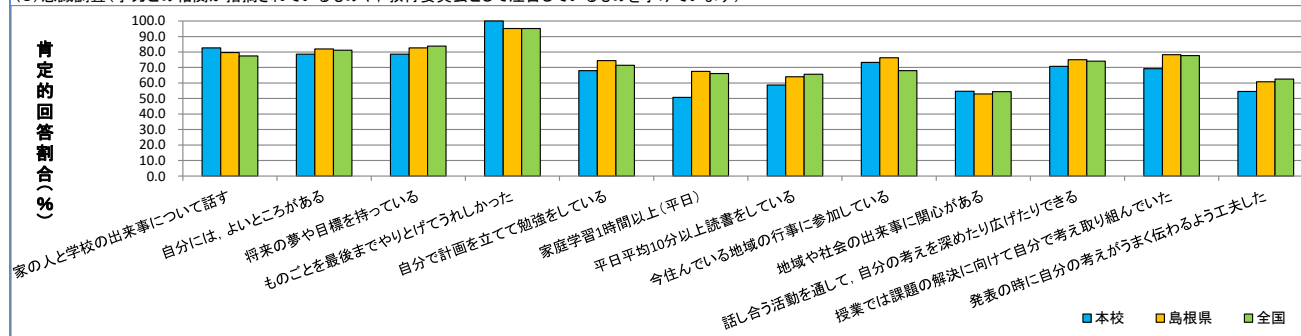
(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・授業や生活の中で、思いや考えを伝え合ったり自己有用感を高め合ったりする場を多く作り、自己を大切にできる心性を育てていく。
・児童の言葉の力を確かなものにしていくため、言語環境を整えるとともに、読書活動の充実と授業改善を進め、「話す・聞く力」の向上を目指す。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本 校	松江市	島根県	全国
国語	59	63	62	63.8
算数	60	66	65	66.6

受検者数 74 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。